



兼商チューンアップ顆粒水和剤

農林水産省登録 第23943号

1/2

令和6年9月11日現在

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	BTを含む 農薬の総 使用回数
水 稲	フタオビコヤガ	16倍	0.8ℓ/10a	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	無人航空機 による散布	—
	コブノメイガ イネツトムシ	2000～ 4000倍	60～150ℓ/10a				
	ニカメイチュウ	1000～ 2000倍					
野 菜 類 (トマト、ミニト マトを除く) からしな(種子)	アオムシ コナガ オオタバコガ ハイマダラノメイガ	2000～ 3000倍	100～300ℓ/10a				
	ヨトウムシ	2000倍					
	ウリノメイガ	3000倍					
ト マ ト ミ ニ ト マ ト	アオムシ コナガ オオタバコガ ハイマダラノメイガ	2000～ 3000倍	100～300ℓ/10a				
	ヨトウムシ トマトキバガ	2000倍					
	ウリノメイガ	3000倍					
果 樹 類 (りんご、かんきつ を除く)	ハマキムシ類 ケムシ類	4000倍	200～700ℓ/10a			発生初期 但し、 摘採前日まで	
り ん ご	シャクトリムシ類 ハマキムシ類						
	ケムシ類	2000～ 4000倍					
か ん き つ	ハマキムシ類 ケムシ類	4000倍					
	アゲハ類	2000～ 4000倍					
茶	チャハマキ チャノコカクモンハマキ チャノホソガ ヨモギエダシャク	2000倍	200～400ℓ/10a				
な た ね	コナガ	2000～ 4000倍	100～300ℓ/10a	発生初期			
ス ト ッ ク		2000倍					
樹 木 類	ケムシ類	4000倍	200～700ℓ/10a				



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



⚠ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布する。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布する。
- 使用に当たっては展着剤を加用することが望ましい。
- アルカリ性の強い、石灰硫黄合剤、ボルドー液などの農薬及びアルカリ性の強い葉面施用の肥料などとの混用はさける。
- 本剤は若令幼虫に有効なので、若令幼虫期に時期を失せず散布する。
- 蚕に対する毒性があるので、養蚕主要県その他主要養蚕地帯及び養蚕農家、共同飼育場などの周辺では施用しない。またこれら以外の場所でも付近に桑園がある場合は飛散してかからないように風向等に十分注意して散布する。なお本剤の使用に当たっては散布区域の使用規制に従う。
- 本剤は吸湿すると固化したり、効果が低下したりすることがあるので、貯蔵に当たっては湿気に注意し、特に使用残りの薬剤は密封して乾燥した冷暗所に貯蔵する。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - ①散布は散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - ②散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用する。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他の散布装置の十分な点検を行う。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。
- 夏期高温時の使用をさける。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

欄 外 ●散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加える。

